

リレー
エッセイ



「至福のひとつとき」

(三門職員からのリレーテーマ)

至福のひとつときと聞いて真っ先に思い浮かんだことは、天気の良い休日です。最近、運動不足の私は散歩をするのが趣味になりつつあります。スマホと小銭だけをポケットに入れて目的もなく歩くと、日々の喧騒や焦燥から切り離されたように感じられるのです。晴れている日の散歩は普段よりも新しい発見が多く、咲いている花や、木の間に縫って飛んでいく虫もその時々によって異なります。同じ道を歩いていても印象が全く違い、それひとつの楽しみです。

最近では海に行ったり、神社やお寺に行ったりして景色を眺めることが多くなりました。暖かい空気の中、散歩をする時間が私の中の至福のひとつときです。

ららん 小山実季

「小さな幸せ」

(相馬職員からのリレーテーマ)

私は登山を趣味(というか人生そのもの)にしています。一人で山に登ることが多いのですが、時折、登山道や山小屋で会う人としばらく行動を共にすることがあります。ほとんどが相手もお一人様。登りながら会話を楽しんだり、山小屋で消灯時間まで一緒に過ごしたり。素敵な女性登山者であれば、疲れなど吹飛びます。山頂の山小屋で声をかけられた女性と満点の星空のもと、テラスでワインを楽しんだことも。でも大抵は一期一会。下山後にはお互いの連絡先の交換などはせずに帰宅します。

帰宅後、汚れた衣類の洗濯や道具の片付け、入浴が済んだあと、山で出会った方のことを思い出しながらビールを飲んでいる時に、小さな幸せを感じます。そんな小さな幸せを味わう為、これからも山に登り続けます。



きら 大滝健一

給食へのこだわり

～栄養士の小山さんにお聞きしました！～

食事提供開始から2ヶ月が経ちました。「安全な食事」「バランスのとれた食事」「個別対応を重視した食事」などを考えるのが私の仕事です。それは今も昔も変わることはありません。そして今、「食での体験を楽しんでもらいたい」という思いがプラスされています。「食での体験」とは空腹を満たすだけでなく、見た目、香りが、味が、食感が、食事動作が楽しめるということです。そのためには、食材の切り方にこだわり、調理方法にこだわり、盛り付け方にこだわり、メニューにこだわりたい。「今日は何だろう?」とワクワクしながら利用していただくために、このこだわりを持ち続けていきたいと思っています。

食は人間のからだをつくり、精神を育むといわれています。今、私を育ててくれているのは利用していただいている皆さんです。多くの気づきと可能性を教えてくださることに感謝したいと思います。



お知らせ

以下の通り職員の人事異動がありましたのでお知らせ致します。

退職 5月31日付け

浅野 弥生

～今までありがとうございました～

いとるらいふ通信

(社福) みんなでいきる
障害福祉事業部りとるらいふ
発行日: 2018年6月

あっという間に春が過ぎ去り、梅雨の季節となりました。梅雨の花である“あじさい”も少しずつ綻んできたようです。気温の変化が激しい毎日が続いていますが、皆様体調いかがでしょうか? 梅雨は気持ちが沈みやすい季節ですが、これからやってくる夏に向けて気分をあげていきましょうね(。°) それでは6月の通信をお届けします!!



子ども達の様子を
のぞいてみましょう!

きら 放課後等デイサービスがオープンしました!

はじめまして! 5月7日よりオープンしました「きら放課後等デイサービス」です!
開所して間もないですが、ここで過ごしている子ども達の様子を紹介します。



放デイの玄関は
こちらです♪

学校からきらに着いたら、手洗い・うがいをしてからおやつタイム♪職員が選んだお菓子やお家から持ってきた大好きなお菓子をいただきますーす♪

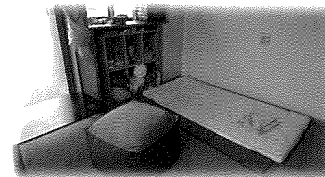


車椅子に乗った
まま入ることが
できます!



ベンチに座っ
ておやつも食
べられます☆

お菓子を食べ終わったらみんな思い思いに過ごされています。フロックで車を作ったり、折り紙でお花やお魚をつくったり、音楽を聴いてニコニコ過ごされる方もいます♪

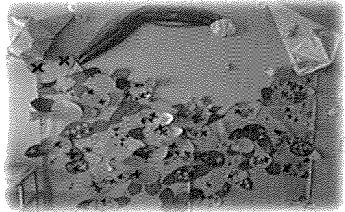


こんな風に毎日過ごしています。子ども達にもっと楽しんでもらえるように、きらに行くのが楽しいと思っただけのように、きら放デイの活動を充実させてまいります。子ども達とともに、職員の成長も温かく見守っていただければと思いますのでどうかよろしくお願いいたします!



季節を感じる制作 /

～らんの5月の活動より～



らんの玄関に大きなアジサイの花を咲かせました。丸く切った画用紙に花の形に切った色とりどりの折り紙を張り付け、ペンで花を描いたりもしました。仕上げに葉っぱを二枚張り付けて完成です。カラフルで可愛いアジサイがたくさん出来ました。作品の中にはウサギやぬいぐるみのような形のアジサイや、たくさんのお花が咲いているアジサイもあります。一人ひとりの個性的な作品を壁に飾ると、とても華やかで楽しそうな雰囲気になりました！他にも蝶々を折り紙で作って張り付けたり、カタツムリを作って張り付けるなど子どもたちが考えて工夫をしていき、現在は写真のような壁面になりました。これからも様々な制作をしていく予定ですので、ららんにお立ち寄りの際は是非ご覧ください！

課題も楽しみも一生懸命 /

～さらの活動より～

こんにちは！今月号は生活介護事業所さらの1日の活動の様子をお伝えします(°O°)♪

午前中は草取りなどの外作業、室内での課題など真剣に仕事に取り組めます。外作業班は晴れた日はもちろんのこと、雨の日も風の日もいつもと変わらず作業服とエプロンを身に付け外へと出かけていきます！先日ビニールハウス内をとてもきれいにしてくださったので、これから何を育てようか考え中◎



お風呂は厨房で作られた給食をおいしく頂き、午後はドライブや散歩、ダンスを楽しむ仕事で疲れた心と身体をリフレッシュしています。ドライブでは海の公園が気に入りました！公園内をたくさん歩き帰りの車中ではウトウト...、外に出るのはやはり息抜きになり楽しいようで、ドライブ組も散歩組も「いってきます。」と嬉しそうに玄関を出て行きます。

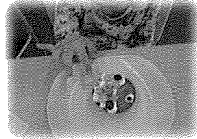
今後利用者の方一人ひとりが見せてくださる表情を大切に様々なことに取り組んでいきたいと思っています。



たくさんの鯉のぼり /

～にこの活動より～

みなさんこんにちは。にこの小林です。5月は端午の節句ということで、にこ室内に大きな鯉のぼりを飾り、5月のプログラムではこいのぼりケーキを作りました！市販のカップケーキの上に生クリームをのぼり、チョコチップやフルーツでそれぞれ好きなように飾りつけ、まんまるでカラフルなこいのぼりケーキが完成しました♪



作り方もそれぞれ工夫されていて、生クリームをかいたいたくさん絞る方もいれば、少しだけしぼって薄くのぼし、全体をコーティングする方もいました。中には「インスタ映えケーキを作る！」とデコレーション用のお菓子をたくさんおせて、とってもカラフルなケーキを作ってくれる方も。スタッフも一緒になって楽しいひと時となりました。

生け花教室、始めました /

～どもの活動より～

ともでは新しいことにチャレンジするため、生け花を実施することにしました。

毎週月曜日の午後、たくさんのお花の中から好きなものを選んで花器に生けます。

はじめは全員未経験だったためどうなることかドキドキしていましたが、やってみたら思いの外いい仕上がりになり、雰囲気のあるものがたくさんできあがりしました！

お花屋さんをお願いして毎回花のイメージカラーを変えているので、いつも違った仕上がりになるのも嬉しいところです。葉っぱの使い方によってオシャレ感が出るのも生け花を始めてから学ぶことができました！

そばに花が咲いているだけでなんだか気持ちまで明るくなってしまいます。

たくさんのお花に囲まれて、ともは元気に活動しています！



選挙は行きますか

社会福祉法人みんなでききる 障害福祉事業部支援課長 松田清司

投票に行くべきか、否か

5月24日、新潟県知事選挙の告示を目にして感じることに。今から20年程前、私が勤務した入所施設での事です。当時、私は施設での生活支援等の勤務経験がないまま生活支援員として同じ時期に新設された定員50名の入所施設での4月から勤務が始まりました。

《当時の勤務した施設の職員の構成》

- ・全体の4分の3 新卒者、パート職員を含む私のように経験がない者
 - ・数名 他分野施設等での経験が多少ある者
 - ・数名 記憶だと、2名ほどだったと思いますか) 知的障害施設で夜勤経験がある者
- ※平均年齢—25歳前後

勤務を始めた初年度には施設所在地の首長選挙と、時期は変わりますが県議会議員選挙が行われることになりました。告示されると、投票所への入場券が入所されているご本人の手元に渡ります。届いたことが分かる、ご家族に「選挙は行きますか?」と確認の連絡を入れます。この時のご家族の返答の大半は「選挙?行かなくてもいいです」と返答を頂きました。私が担当した方のご家族も同様です。選挙に行く?行かない?と、職員間で立ち話に始まり、テールを囲み話し合いました。

①障害(知的障害)があっても投票は出来るのか、その一票は認められるのか。

②選挙の意味や、立候補者の事をどのように伝えるか。

③本人の投票意志は、誰がどのように引き出すか。

主に、この3つが議題でした。

①については、選挙管理委員会に問い合わせをし「投票は可能」「一票として認められる」と返答(聞いた方が早いということで、選挙に問合せしてその場で解決)

②は言い合いになり、どうにか収拾しました。

話し合いをしている職員自身、選挙に行った事があるものは数名しかいなかった。

「選挙行ったことがなくて、考えたことがないのに、こんな時だけ意味とか、理由とか偉そうなこと言っちゃダメだ」と、ある職員が発したこの言葉に返す言葉がなかったのをよく覚えています。投票に行く目的や意味を理解して投票しているかと言えば、そうではない。投票所に行ったことがない職員が、入所者に投票をさせる云々出来るのかということに一旦は着地した。職員間でも、意見は分かれています。

→社会参加の一つとして、投票という行為はするべき。

とにかく、投票所に行く!投票出来たらいいね!の希望

→一人で投票出来ないんだしたら、行っての意味もないのでは?

→選挙の人に迷惑だから、行かなくても...

「投票所の横にある自販機に拘ったらどうしょ?」みたいな、稀な事柄も含め様々な意見が出ました。確かに、直接投票と関係がない部分で本来の目的が達成できない状況は、避けたいところ。

③本人の選択をどのように汲み取るか。

→好き嫌いなど選択を含めて確認しやすい方は、指差しや代替表出による選択を代弁。

話し合いの結論としては「とにかく、投票所に行く」「行ってダメなら、考えよう」

私たちはこの投票のために、選挙管理委員会の方に協力頂き立候補者のポスターを一覧にもらったり、会場になる建物の写真を撮ったり可能な限りの準備をしました。

結論から言うと、投票当日は数名ずつ投票所に行き「投票をする」ことが出来ました。選挙の皆さんは私たちというより、ご本人一人ひとりに「ご苦労様です」「ありがとうございます」と、声をかけていただきました。「投票来てよかった」とホッとしました。私たちが思っている以上に出来る事が多く、普段見たことがない立ち振る舞いに感激し「〇〇さん投票行ってきました!」嬉しい報告を頂きました。

今回の投票は選挙管理委員会の方々の協力や理解はとても励みに地域に迷惑をかけてはいけないと思っていたのは、自分たちだけが感じていた事でした。変化を求めらば、自ら歩み寄らなくては何も変わらない。選挙の方々と一緒に知恵を出し合った時間はきちんと形になったと実感しています。

迷惑をかけてしまうかも...きつともういかない...と感じていたのは、普段一緒にいる職員だけで、入所されている方を過小評価していたことを悔やみました。もしかしたら投票所に来て投票出来た方もいたのではと思います。

その後の県議会議員選挙は、前回の後悔と反省を活かし選挙の方々のご協力とご理解で前回より多くの方に投票所に選挙権を持っている方の大半は「行く」ことが出来ました。

今まで『知的障害だから行かなくていい』と仰っていた、ご家族が『今回の選挙、投票させてください』と「行く」ことを選択された方が多くなった嬉しい結果もありました。

誤解を恐れずいうならば、この選挙の投票は「楽しかった」の一言。受付をし、投票用紙と鉛筆を受け取り記入台に向かう姿を見守ります。迷いが無いキレイな線で「自分の名前」を書く方がいたり、代筆補助の選挙職員ネクタイの柄に拘ってしまい、投票が終わるまでに1時間近くかかった方もいらっしゃいました。前回を合格だとしたら、この回は不合格だったかもしれませんが、投票所に行く体験、行為としては合格だと今でも思っています。なぜなら支援者として、選挙の引き出しを増やせたことも大切だと思うからです。勿論、ご本人にとっても初めての体験が出来たという点でみれば、大きな満点です。

当時の私たちは、なかなか上手くいかず失敗ばかりの支援に疲労感を感じていたように思います。私自身、当時のことを振り返る中で、失敗したことしか思い出せません...。それでも投票に行くか行かないかとか、結論が出ない事でも顔を合わせ議論したことや、下準備に費やした時間は無駄になったとは思いません。失敗したことしか思い出せなくても、その失敗が支援の引き出しになり、次はどんな事が起こるか期待をもって関わることの土台になっていると思います。先に繋がる成功も必要ですが、失敗から得る成功の方が喜びは二倍以上に感じます。上手く出来たら褒めてください。

